



## 鹿ノ子ダム完成

国直轄の多目的ダム



工事中の堤体

常呂川はオホーツク海に注ぐ、東北海道屈指の大河川。その流域は気候風土に恵まれて農耕地として開け、常呂川沿いには1市2町の市街地が形成されています。しかし、ひとたび洪水に見舞われるとその被害は甚大で、大正8年、同11年、昭和50年には記録的な被害をもたらしています。また、北見市の都市化など流域の水需要が増大していたにもかかわらず、流量が減少傾向にあり利水上不安定でもありました。

鹿ノ子ダムは、このような洪水による被害の防止と、地域開発の水利用を含めた国直轄の多目的ダムとして、昭和43年度から予備調査を実施し、同47年度の実施計画調査を経て、同50年度建設工事が着手されました。昭和54年9月に定礎式を行い、丸3年にわたってコンクリートが流し込まれ、同57年打設を完了。翌年7月1日試験湛水を開始して、9月28日竣工に至りました。

このダムは、洪水時に流水を貯留しながらその一部を流すことにより、被害の軽減をはかる洪水

調整、また、河川の渇水時に流水の正常な機能維持をはかる流水の確保、常呂川流域の畑地にかんがい用水の補給、さらに1市2町に上水道用水として一日最大54,300m<sup>3</sup>の供給を行うのが目的で、ダムの形式は重力式コンクリートダム、高さ55.5メートル、長さ222メートル、総貯水量3,980万m<sup>3</sup>となっています。

建設工事着工以来9年の歳月と、192億円の事業費を投じて完成。特にダム周辺は、国有保安林に囲まれた雄大な自然環境を保持するため、環境保全には十分注意がはらわれており、湖の周辺には5.1kmにわたって舗装され、鹿ノ子大橋など大小8つの橋が景観を盛り立てています。

町ではダムによってできた人造湖を「おけと湖」と命名し、温泉を掘って観光センター（メモリーハウスおけと）を造る一方、展望台、駐車場、キャンプ場等を設け観光客の誘致に懸命でしたが、現在では休止中の公共施設も目立つようになりました。（参照：置戸町史下巻）

## 広がれ、花いっぱいの輪

32回目を迎えた「花いっぱい共励会」。今年は花壇の部、ガーデニングの部を合わせて24件の参加申込がありました。フラワーマスターなどの審査員は、花の見栄えだけでなく花がらや草取りの状況なども丁寧に審査し、「雨が少ない中でも綺麗に花を咲かせている」「花器選びにもさまざまな工夫が見られ面白い」などと話していました。

第32回花いっぱい共励会  
審査結果・最優秀賞

花壇の部（団体） 勝山寿クラブ  
" （個人） 篠原富子さん（安住）  
ガーデニングの部 坂本和美さん（若松）

